

令和8年度病害虫発生予察注意報第1号

令和8年4月20日
岐 阜 県

作物名 麦類

病害虫名 赤かび病

1 発生地域 県下全域

2 発生時期 4月下旬以降

3 発生程度 やや多い

4 予報の根拠

- (1) 4月4日以降、麦類赤かび病の発生好適日が高い頻度で出現している(表)。
- (2) 名古屋地方气象台発表の1か月予報(4月16日発表)によると、期間を通して、気温の高い日が多く、降水量は平年並みか多いと予測されており、今後も感染に好適な気象条件が続くと考えられる。
- (3) 近年、赤かび病の発生量は平年に比べ高い傾向が続いていることから、ほ場における本病原菌の密度は高いと予想される。

5 防除上の注意事項

- (1) 開花始期(出穂期から7~10日後)とその10日後の2回、必ず防除を実施する。
- (2) 防除を実施する場合は、使用する薬剤の収穫前日数に注意する。
- (3) 系統の異なる剤によるローテーション散布を行う。
- (4) 排水の悪いほ場で本病の発生が多くなるので、排水溝の点検・整備を行う。
- (5) 発生状況の観察を続け、発病程度によっては3回目の防除を検討する。
- (6) 農薬の使用にあたっては、最新の登録内容(農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>)を確認し、適正に使用する。

表 赤かび病の発生好適日（令和8年4月16日現在）

	4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16
岐阜市	○	○	○			○	○	○				○	○
	◎	◎	◎				◎	◎				◎	◎
大垣市	○	○	○	○			○	○				○	○
	◎	◎	◎				◎	◎				◎	◎
揖斐川町	○	○	○				○	○				○	○
	◎	◎	◎				◎	◎				◎	◎

・各地域の上段は子とう殻形成好適日、下段は子とう胞子飛散好適日の出現日を示す

・○子とう殻形成好適日は、降雨直後かつ平均気温が13°C以上であった日

・◎子とう胞子飛散好適日は、降雨直後または湿度が80%以上に加え、最高気温が15°C以上かつ最低気温が10°C以上の条件を満たした日